

州

名前

問1 南アメリカ大陸のブラジルやオセアニアのオーストラリアは、広大な国土を持ち、ある鉱産資源の生産量が世界的に見て上位にあります。製鉄の重要な原料として利用されるこの資源の名称を答えなさい。(2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 原油 2. 石炭 3. ポークサイト 4. 鉄鉱石

問2 南アメリカ大陸の西側にそびえるアンデス山脈の断断的な特徴に関連して、この地域の住民の生活様式を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 険しい地形を活かして、大陸を東西に結ぶ大規模な鉄道網が発達しており、山脈を越えた貿易が経済の中心となっている。
2. 山脈の断面形状が平坦であるため、大規模な機械を導入した小麦の企業的穀物農業が山岳地帯のいたるところで展開されている。
3. 標高が高い地域ほど温暖になるため、山頂付近ではコーヒーやサトウキビの栽培が盛んに行われている。
4. 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリヤマ、アルパカの放牧が行われている。

問3 広大な国土を持つブラジルの土地利用について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。国土面積に占める土地利用の割合を示した統計において、約六割という大きな割合を占めている項目に着目して答えなさい。 (2025年 山梨県公立入試 類似)

1. 乾燥した気候の影響により、砂漠や岩石地などのその他の土地が国土の約六割を占めている。
2. 肉牛の放牧が盛んであるため、牧場・牧草地の割合が国土の約六割に達している。
3. アマゾン川流域などの熱帯林を中心とした森林の割合が、国土の約六割と非常に高い。
4. 大豆やさとうきびを生産するための農地が、森林の割合を上回って国土の過半数を占めている。

問4 オセアニア州にあるサンゴ礁を基盤とする島国では、地球温暖化を背景とした「海面浸食」が大きな課題となっています。この問題が発生する地形的な背景とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. サンゴ礁の島は山地が少なく標高が極めて低いため、わずかな海面の上昇でも居住地や耕作地に海水が入り込みやすい。
2. 大陸から切り離された孤立した島々であるため、海面上昇によって独自の生態系を持つマングローブ林が乾燥し、砂漠化している。
3. サンゴ礁が波の衝撃を吸収できなくなったことで、リアス海岸特有の複雑な入り江に津波が押し寄せやすくなっている。
4. プレートの境界に位置するサンゴ礁の島では、温暖化による海水温の上昇が引き金となって火山活動が活発化している。

問5 南アメリカのアンデス山脈周辺の産業について、標高4000メートル付近の厳しい自然環境における人々の生活と、低地での農耕を対比させた状況を想定します。このような高地を含む環境下でも栽培が可能であり、古くから現地の人々の主食として重要な役割を果たしてきた農作物を次のの中から選びなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)

1. 小麦 2. キャッサバ 3. ジャガイモ 4. タロイモ

問6 オセアニア地域に含まれるオーストラリアやニュージーランドについて、2017年から2019年の統計資料から読み取れる日本人の動向として、正しい説明はどれですか。（2024年 兵庫県公立入試 類似）

1. ASEAN諸国への留学人気に押され、日本人留学生数と訪問者総数の両方が減少した。
2. 英語教育への関心の高まりを受け、訪問者総数と留学生数の両方が大幅に増加した。
3. 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。
4. ビジネス目的の訪問者が急増した一方で、治安への不安から日本人留学生数は減少した。

問7 南アメリカ大陸に位置するブラジルの農業において、広大な土地を利用した「大規模な機械化」が進んだ結果、近年輸出額が急増し、世界的な産地となっている農産物はどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

1. カカオ 2. 茶 3. 天然ゴム 4. 大豆

問8 オセアニア地域に位置するオーストラリアにおいて、イギリス植民地時代の面影を残しながらも、近年アジアからの移民が急増し、社会の多様性が進んでいる背景を説明した文として、適切なものを選びなさい。(2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 広大な国土を開発するために、周辺諸国との関わりを断ち、自国の伝統文化のみを保護する政策に切り替えたため。
2. 国内の先住民との対立を解消するために、ヨーロッパ以外からの移民を禁止する白豪主義を徹底したため。
3. イギリスとの軍事的な協力関係を維持するために、英語を公用語とする人々に限定して移民を認めてきたため。
4. アジア諸国との経済的結びつきを重視し、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共存する多文化社会へと転換したため。

問9 オーストラリアは、石炭や液化天然ガス（LNG）などのエネルギー資源を豊富に産出しています。ある統計において、オーストラリアのエネルギー自給率が304.3%という極めて高い数値を示している理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 製造業がほとんど存在しないため、国内でエネルギーを消費する必要が全くないため
2. 広大な国土を活かした太陽光発電や風力発電だけで、国内の全エネルギーをまかなっているため
3. 自国で消費するエネルギー量に比べて、国外へ輸出する資源の量が圧倒的に多いため
4. 国内の人口が極めて少ないため、エネルギー資源の採掘そのものを厳しく制限しているため

問10 オーストラリアの鉱物資源の採掘において、広大な国土を活かして地表から直接削り取る採掘方法と、この国で産出が盛んな資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 露天掘り — 鉄鉱石や石炭 2. 坑内掘り — 原油や天然ガス 3. 露天掘り — 原油や天然ガス 4. 坑内掘り — 鉄鉱石や石炭

問11 主要国のエネルギー消費量と二酸化炭素排出量の関係について、ブラジルはオーストラリアと比較すると、エネルギー消費量が多いものの、二酸化炭素排出量の増加は相対的に抑えられているという特徴があります。このようなエネルギー構造になっている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)

1. 安価な石炭を主なエネルギー源として利用し、火力発電を電力供給の中心にしている。
2. さとうきびを原料としたバイオ燃料の普及や、水力発電の割合が高いことが影響している。
3. 二酸化炭素の排出を抑えるため、国内の全エネルギー消費を風力と太陽光のみでまかなっている。
4. シェールガスの採掘技術が発達し、二酸化炭素を排出しない天然ガスの利用が国内で完結している。

問12 16世紀から19世紀にかけて、南アメリカの植民地における農園や鉱山での労働力として、アフリカ州から多くの人々が強制的に連れてこられた歴史的背景に関する説明として、最も適切なものはどれですか。(2023年 福島県公立入試 類似)

1. アフリカの諸王国から最新の農業技術を導入するため、専門的な技術者を組織的に招いた。
2. アフリカの気候が南アメリカの山岳地帯と酷似しており、高地での労働に適していたため。
3. 南アメリカ大陸の人口を急激に増やすことで、ヨーロッパ本国からの独立を早める狙いがあった。
4. 現地の先住民が感染症や過酷な労働によって激減したため、不足した労働力を補う必要があった。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 鉄鉱石	ブラジルやオーストラリアは、安定陸塊と呼ばれる古い地質構造が広がっており、製鉄に欠かせない鉄鉱石が豊富に埋蔵されています。特にオーストラリアは露天掘りによる大規模な採掘が行われており、日本にとっても最大の輸入相手国となっています。石炭もオーストラリアで多く産出されますが、ブラジルではそれほど多くないため、両国に共通する主要な資源としては鉄鉱石が適切です。
問2	答え 4 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリヤマ、アルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈は標高が非常に高く、高度が上がるにつれて気温が下がる垂直的な気候の変化が見られます。住民はこの環境に適応し、低地では熱帯の作物を、高地では寒冷な気候に強いジャガイモの栽培や、家畜としてリヤマやアルパカを飼育するなど、標高に応じた多様な生活を営んでいます。また、低地よりも過ごしやすい標高2,000m～3,000m付近に都市（例：ラパスやキト）が形成されることも特徴です。
問3	答え 3 アマゾン川流域などの熱帯林を中心とした森林の割合が、国土の約六割と非常に高い。	ブラジルは世界最大の熱帯雨林であるアマゾン川流域を抱えており、土地面積に占める森林の割合が約60%と非常に高いことが大きな特徴です。近年、農地開発や牧草地の拡大、道路建設などによって森林破壊が深刻な問題となっていますが、依然として国土の大部分を森林が占めています。
問4	答え 1 サンゴ礁の島は山地が少なく標高が極めて低い ため、わずかな海面の上昇でも居住地や耕作地に海水が入り込みやすい。	サンゴ礁でできた島々は、火山島などと比較して地形が非常に低く平坦であるという特徴があります。そのため、地球温暖化による海面上昇は、単に土地が削られるだけでなく、井戸水への塩分混入や農地の塩害を引き起こし、人々の生活基盤を脅かしています。これはオセアニア諸国にとって国家の存続に関わる重大な国際問題となっています。
問5	答え 3 じゃがいも	アンデス山脈の高地は気温が低く、多くの農作物の栽培には適さない厳しい環境ですが、じゃがいもはこのような冷涼な気候に強く、古くから重要な食料源となってきました。同じ南アメリカの熱帯低地ではキャッサバが主に栽培されますが、高地の厳しい環境下で主食として栽培されてきたのはじゃがいもであるという点が特徴です。
問6	答え 3 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。	オセアニアにおける日本人訪問者の動向を統計的に捉えると、観光客数などの変動に関わらず、学習を目的とした滞在者が一貫して増えているという特徴があります。これは、単なる観光地としての魅力だけでなく、語学学習や異文化理解を目的とした中長期的な教育交流が深化していることを示しています。統計分析においては、全体の数値だけでなく目的別の内訳を比較することで、こうした社会的な背景を読み取ることが可能です。
問7	答え 4 大豆	ブラジルでは、かつてのコーヒーモノカルチャー経済からの脱却を図るため、内陸部の未開発地域であったセラード（草原地帯）などの開発を進めました。そこで導入されたのが大規模な機械化農業であり、現在ではアメリカ合衆国と並ぶ世界最大級の大豆生産・輸出拠点となっています。天然ゴムはアマゾン川流域で過去に栄えた産業、カカオは西アフリカなどで盛んな作物です。
問8	答え 4 アジア諸国との経済的結びつきを重視し、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共存する多文化社会へと転換したため。	オーストラリアは地理的にアジアに近く、石炭や鉄鉱石などの資源輸出を通じてアジア諸国との経済的なつながりが非常に強くなっています。こうした背景から、従来のイギリス中心の考え方を改め、アジアからの移民を労働力や社会の構成員として受け入れるようになりました。その結果、互いの文化を尊重し合う「多文化社会」の考え方が定着しました。
問9	答え 3 自国で消費するエネルギー量に比べて、国外へ輸出する資源の量が圧倒的に多いため	オーストラリアは石炭、鉄鉱石、液化天然ガス（LNG）、ウランなどの鉱産資源が豊富に埋蔵されています。エネルギー自給率は「国内のエネルギー消費量」に対する「国内のエネルギー生産量」の割合で示されるため、自国で使う量よりもはるかに多い資源を生産し、日本などの諸外国へ輸出しているオーストラリアの数値は100%を大きく超えることになります。
問10	答え 1 露天掘り ― 鉄鉱石や石炭	オーストラリアでは、鉄鉱石、石炭、ボーキサイトなどの鉱物資源が地表近くに豊富に埋蔵されています。そのため、地下にトンネルを掘る「坑内掘り」ではなく、地表を直接階段状に掘り進める「露天掘り」という大規模で効率的な手法が採用されています。
問11	答え 2 さとうきびを原料としたバイオ燃料の普及や、水力発電の割合が高いことが影響している。	ブラジルでは、広大な耕作地を利用して栽培されるさとうきびからバイオエタノールを生産し、自動車の燃料などとして広く普及させています。また、豊かな水資源を背景に電力供給の多くを水力発電に頼っているため、化石燃料への依存度が低く、エネルギー消費量の規模に対して二酸化炭素の排出が抑制される傾向にあります。
問12	答え 4 現地の先住民が感染症や過酷な労働によって激減したため、不足した労働力を補う必要があった。	南アメリカに入植したヨーロッパ諸国は、当初は現地の先住民を労働力として利用しようとしたのですが、ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症や、不慣れた環境下での過酷な労働によって先住民の人口が激減しました。この深刻な労働力不足を解消するために、奴隷貿易を通じてアフリカ州から多くの人々が連行され、プランテーションや鉱山で働かされることになりました。これは世界的な規模で行われた三角貿易の一部でもあります。

南アメリカ・オセアニア 州

名前

問1 コーヒーの栽培に適した自然環境について説明した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1. 年平均気温が25度以上、年降水量が4000mmを超える常に湿潤な熱帯環境 | 2. 年平均気温が16～22度、年降水量が500mm程度で、収穫期に雨が多い環境 | 3. 年平均気温が16～22度、年降水量が1000～3000mm程度で、収穫期に乾燥している環境 | 4. 年平均気温が10度前後、年降水量が500mm未満の冷涼で乾燥した環境 |
|---|--|--|---------------------------------------|

問2 ブラジルの歴史と人々の生活について説明した次の文章のうち、正しい記述はどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. ブラジルは独立当初から多民族国家を目指し、アフリカやアジアから自発的な移民のみを受け入れて発展した。 | 2. 16世紀にスペインの植民地となったことで、先住民の文化とキリスト教が融合し、ヨーロッパ系の人々が人口の大部分を占めるようになった。 | 3. かつてポルトガルが先住民を支配するとともに、農園の労働力としてアフリカから多くの人々を奴隷として連れてきた。 | 4. 広大なアマゾン川流域の開発を目的として、19世紀末にアメリカ合衆国から大規模な奴隷労働力が導入された。 |
|---|--|---|--|

問3 世界の農産物の統計において、生産量の国別割合がアメリカ合衆国（31.4%）、中国（23.9%）に次いで、ブラジルが世界第3位（8.1%）を占めている品目として正しいものはどれですか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|------|-------|-------|-----------|
| 1. 米 | 2. 綿花 | 3. 小麦 | 4. トウモロコシ |
|------|-------|-------|-----------|

問4 オーストラリアでは、気候条件に合わせて家畜の飼育場所が異なります。牛の放牧が、羊の放牧が盛んな南部や南西部とは異なり、特に北部から東部の沿岸地域に集中している主な理由として適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. これらの地域は降水量が比較的多く、牛の飼育に適した環境であるため | 2. これらの地域は年間を通じて乾燥しており、羊よりも牛の方が乾燥に強い | 3. これらの地域は冷涼な気候であり、肉牛の肉質を維持するのに適している | 4. これらの地域は小麦の栽培が盛んであり、その収穫後の藁を主な飼料とする |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

問5 南アメリカ大陸にある二つの都市の統計を比較すると、一方は一年を通じて月平均気温が20度前後と温暖ですが、ボリビアのラパスは月平均気温が7度から11度の間で推移しており、非常に冷涼な気候を示しています。ラパスにおいて、低緯度（赤道に近い）であるにもかかわらずこのような気温になる理由と、この地域で古くから飼育されている家畜の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 周辺を流れる寒流の影響で気温が低くなり、羊やヤギが飼育されている | 2. 高緯度（極地に近い）に位置するため気温が低くなり、トナカイが飼育されている | 3. 地中海性気候に属するため夏に乾燥して涼しく、牛や馬が飼育されている | 4. 標高が高いため気温が低くなり、リャマやアルパカが飼育されている |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|------------------------------------|

問6 世界の農産物生産割合（2023年）をまとめた統計において、大豆の生産シェアが世界の51.7%と過半数を占めている地域はどこですか。この地域では、ブラジルやアルゼンチンを中心に、世界的な需要に応えるため大規模な農地開発が進められています。 (2026年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. アジア州 | 2. 南アメリカ州 | 3. 北アメリカ州 | 4. アフリカ州 |
|---------|-----------|-----------|----------|

問7 ブラジルでは、1990年代から2000年代にかけて衛星写真で確認できる森林面積が大幅に減少する一方で、統計上の耕地面積は655万haから866万haへと大きく拡大しました。このような土地利用の変化が起きた背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 先進国企業の工場を誘致するための広大な工業団地や、都市住民のための住宅地を整備することを目的として森林が開発された。 | 2. バイオ燃料の原料となるサトウキビの国際価格が下落したため、農家が経営を安定させるために耕地を縮小し、森林保護へと舵を切った。 | 3. 中国などの諸外国で大豆の輸入需要が高まったため、輸出用の大豆を生産する農地を確保しようと大規模な森林伐採が行われた。 | 4. ブラジル国内の人口急増に伴い、自給用のトウモロコシや小麦の生産を拡大させるため、熱帯雨林が伝統的な焼畑農業の場へと転換された。 |
|---|---|---|--|

問8 近年のオーストラリアの産業と貿易の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. かつては羊毛の輸出が中心だったが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源を最大の輸出相手国である中国へ大量に輸出している。 | 2. 北米自由貿易協定（NAFTA）に加盟したことで、最大の輸出相手国であるアメリカ合衆国へ原油を輸出する割合が増加した。 | 3. 国内での鉄鉱石の産出量が減少したため、現在は中国などの近隣諸国から原料を輸入して加工する工業が中心となっている。 | 4. アジア諸国との経済的な結びつきを弱めるため、イギリスを中心としたヨーロッパ諸国への鉄鋼製品の輸出を強化している。 |
|--|---|---|---|

問9 シドニーの降水量の特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。なお、シドニーの年間降水量は約1000ミリメートル弱であり、気温は7月頃に最も低く、1月頃に最も高くなります。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 冬にあたる7月頃に降水が集中し、それ以外の季節は非常に乾燥する。 | 2. 一年を通じて降水量が極端に少なく、わずかな降水が冬にのみ見られる。 | 3. 夏にあたる1月頃は気温が高く、降水量がほとんどゼロになる乾季となる。 | 4. 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|

問10 日本とニュージーランドの月別平均気温を比較すると、一方が高い時期に他方が低くなるという、正反対の変化が見られます。このような地理的特徴を活かした、日本によるニュージーランドからのかぼちゃの輸入に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. ニュージーランドは赤道直下に位置し一年中気温が高いため、日本の収穫時期に関わらず毎月一定量を輸入している。 | 2. 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。 | 3. 日本でかぼちゃが大量に収穫される夏から秋にかけて、価格を抑えるためにニュージーランドからも同時に輸入している。 | 4. 日本とニュージーランドには大きな時差があるため、輸送中の鮮度劣化を防げるという利点を活かして輸入している。 |
|--|---|--|--|

問11 世界の国々の統計を示した資料において、国土面積が約7,692km²と広大である一方、人口は約2,363万人と比較的少なく、森林割合が16.1%という低い数値を示している国はどこですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|--------|
| 1. インドネシア | 2. オーストラリア | 3. アルゼンチン | 4. カナダ |
|-----------|------------|-----------|--------|

問12 アンデス山脈の高地における伝統的な住居の構造と、その材料が選ばれた背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 標高が高く樹木が育ちにくいため、身近にある石や土を固めた日干しレンガを主な材料としている。 | 2. 草原地帯で放牧を行いながら移動を繰り返すため、布や動物の毛皮を用いた組み立て式のテントに住んでいる。 | 3. 季節風による大雨や洪水から家を守るため、コンクリートを用いた高床式の住居を建てている。 | 4. 熱帯のジャングルに囲まれており木材が豊富であるため、丸太を組み合わせた通気性の良い家を作っている。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 年平均気温が16～22度、年降水量が1000～3000mm程度で、収穫期に乾燥している環境	コーヒーの栽培には、年平均気温が16～22度、年降水量が1000～3000mm程度という温暖で一定の雨量がある条件が必要です。特に、品質の良い豆を収穫するためには、収穫期に乾燥していることが好ましいとされています。これに対し、より冷涼で乾燥した環境を好むのは小麦などの作物です。
問2	答え 3 かつてポルトガルが先住民を支配するとともに、農園の労働力としてアフリカから多くの人々を奴隷として連れてきた。	ブラジルの多文化社会の根底には、ポルトガルによる植民地支配の歴史があります。16世紀以降、プランテーション（大規模農園）での労働力を確保するために、多くのアフリカの人々が奴隷として連れてこられました。資料などでもヨーロッパ系とアフリカ系の混血の人々が多いことが示される通り、こうした歴史的な人々の移動が、現在のブラジルの多様な人口構成につながっています。
問3	答え 4 トウモロコシ	アメリカ合衆国と中国が生産量の約半分を占め、ブラジルがそれに次ぐ上位にある統計はトウモロコシの特徴です。ブラジルは広大な国土を活かした大規模農業が盛んで、コーヒー豆だけでなくトウモロコシや大豆の生産でも世界有数のシェアを誇っています。これらの穀物は輸出だけでなく、ブラジル国内で盛んな畜産業の飼料としても重要な役割を果たしています。
問4	答え 1 これらの地域は降水量が比較的多く、牛の飼育に適した環境であるため	オーストラリアの家畜分布は降水量と密接な関係があります。牛の放牧には多くの水が必要となるため、降水量が比較的多い北部や東部の沿岸地域で盛んに行われています。これに対し、乾燥に強い羊は、牛よりも降水量の少ない南部や西部の半乾燥地域などで多く飼育されています。
問5	答え 4 標高が高いため気温が低くなり、リャマやアルパカが飼育されている	アンデス山脈に位置する都市は標高が高いため、低緯度であっても気温が上がらず、一年中涼しい高山気候となります。標高が100メートル上がるごとに気温は約0.6度下がるため、標高約3,600メートルに位置するラパスでは、平地よりも20度近く気温が低くなります。こうした冷涼な環境に適応した家畜として、古くからアンデス地域ではリャマやアルパカが荷物の運搬や毛の採取のために飼育されてきました。トナカイは北極圏周辺の寒帯で飼育される動物であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 2 南アメリカ州	南アメリカ州、特にブラジルやアルゼンチンでは大豆の生産が非常に盛んであり、世界全体の生産量の半分以上を占めています。一方、カカオ豆のシェアが6割を超えるのはアフリカ州であり、統計資料を読み解く際は、作物ごとの主要な生産地域を区別して理解することが重要です。
問7	答え 3 中国などの諸外国で大豆の輸入需要が高まったため、輸出用の大豆を生産する農地を確保しようと大規模な森林伐採が行われた。	ブラジルにおけるアマゾンの森林破壊は、単なる国内問題ではなく、世界の市場経済と密接に関係しています。特に中国などの経済発展に伴い、家畜の飼料や食用油としての「大豆」の需要が世界的に急増しました。これに応えるため、ブラジルでは輸出用の大豆生産を拡大しようと、それまで手つかずだった森林を伐採して広大な耕地に転換する動きが加速しました。この事例は、ある国の輸入拡大（消費）が、遠く離れた国の森林伐採（生産地の環境変化）を引き起こすという、グローバル化社会における課題を象徴しています。
問8	答え 1 かつては羊毛の輸出が中心だったが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源を最大の輸出相手国である中国へ大量に輸出している。	オーストラリアの貿易構造は、20世紀半ばまでは羊毛などの農産物をイギリスへ輸出する形が主でしたが、その後、石炭や鉄鉱石といった鉱産資源の輸出へと移行しました。輸出先もヨーロッパからアジアへとシフトし、現在は地理的な近接性と旺盛な資源需要を背景に、中国が最大の貿易相手国となっています。この関係は、オーストラリアの経済成長を支える大きな要因となっています。
問9	答え 4 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。	シドニーが属する温暖湿潤気候は、季節による降水量の偏りが少なく、一年を通じて平均的に雨が降ることが大きな特徴です。オーストラリア南部で見られる地中海性気候（夏に乾燥する）や、内陸部の乾燥帯（雨が極めて少ない）とは、この「年間を通じて安定した降水がある」という点で明確に区別されます。
問10	答え 2 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。	日本が位置する北半球と、ニュージーランドが位置する南半球では、季節が正反対になります。この「季節の逆転」を利用すると、日本が冬の時期に南半球のニュージーランドは夏から秋の収穫期を迎えることになります。日本で国内産のかぼちゃが品不足になる時期に、ちょうど収穫期となるニュージーランドから輸入することで、一年を通じて安定的に農産物を供給できるという補完的な貿易関係が築かれています。時差や赤道直下の気候は、この貿易の主な理由ではありません。
問11	答え 2 オーストラリア	広大な国土面積（約769万km ² ）に対して人口が約2,300万人と少ないのが、オセアニア州に位置するオーストラリアの大きな特徴です。また、国土の大部分に乾燥帯が広がっているため、森林の割合が20%以下と他の広大な国々と比較しても低くなっています。一方、インドネシアは島国ですが人口が2億人をを超える人口大国であり、カナダは面積がより広く森林率も高いという違いがあります。
問12	答え 1 標高が高く樹木が育ちにくいと、身近にある石や土を固めた日干しレンガを主な材料としている。	高山気候の地域では森林限界を超えることが多く、建築用の木材を入手することが困難です。そのため、伝統的には周辺で手に入る石や、土を成形して太陽光で乾燥させた日干しレンガが住居の材料として利用されてきました。これにより、昼夜の寒暖差が激しい環境においても、室内の温度を一定に保つ工夫がなされています。

問1 ブラジルにおけるバイオ燃料の生産と環境問題について、さとうきびの栽培や工場分布の特徴を説明した文として正しいものはどれですか。
(2025年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. さとうきびの栽培面積を拡大した結果、土地の保水力が高まり、土壌流出などの環境問題は解消された。 | 2. バイオ燃料の普及に伴い、ブラジル南東部ではアルコール燃料を製造する工場が集中している。 | 3. SDGs（持続可能な開発目標）の観点から、現在はさとうきびではなく、水素を主原料とした燃料への移行が完了している。 | 4. バイオ燃料の原料は主に輸入に頼っており、国内の農地開発が環境に与える影響はほとんどない。 |
|--|--|--|---|

問2 チリの輸出総額は、1993年の約92億ドルから2017年には約692億ドルへと大幅に増加しました。この期間の輸出相手国の変化について、1993年と2017年の状況を比較して説明したものとして正しいものはどれですか。
(2021年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 輸出総額の増加に伴い、アメリカ合衆国の占める割合が首位を維持し続け、独占状態が強まった。 | 2. アジア州の国々への輸出が伸び悩み、代わりに南アメリカ州内での近隣諸国との貿易が中心となった。 | 3. 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。 | 4. 経済発展に伴い国内消費が増えたため、輸出総額は増えたものの輸出相手国の顔ぶれに変化は見られなかった。 |
|---|---|---|---|

問3 日本への輸出品目において「なたね」が10.4%、「鉄鉱石」が9.2%、「豚肉」が8.4%を占めるオーストラリアの社会・経済的特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2024年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本への最大の輸出品目は液化天然ガスであり、都市部への人口集中により人口密度は100人を超えている。 | 2. 羊毛などの畜産品のみに依存した貿易構造であり、人口密度は世界平均を大きく上回っている。 | 3. 大規模な灌漑農業によって小麦の輸出が中心となっており、人口密度は1平方キロメートルあたり50人程度である。 | 4. 広大な国土に豊富な鉱産資源と農産物を有しているが、人口密度は1平方キロメートルあたり4人と極めて低い。 |
|---|--|--|--|

問4 地球温暖化の影響で世界の年平均気温が上昇する中、海水の熱膨張や陸上の氷河が溶け出すことによって引き起こされ、標高の低い島国などで国土が失われる危機をもたらしている現象を何といいますか。
(2025年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 海面上昇 | 2. 砂漠化 | 3. 地盤沈下 | 4. 森林破壊 |
|---------|--------|---------|---------|

問5 日本と、赤道が通過するブラジルなどの南アメリカの国々との間で、時差が約12時間と最大級になる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。
(2019年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------|--|---------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 日付変更線を西から東へ越えることで、時刻が1日分進むため | 2. 日本は北半球にあり、南アメリカの多くは南半球にあって季節が逆になるため | 3. 日本と経度が約180度離れており、地球のほぼ反対側に位置しているため | 4. 赤道付近は緯度が低く、日本よりも自転の速度が速いため |
|---------------------------------|--|---------------------------------------|-------------------------------|

問6 シドニーの降水量の特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。なお、シドニーの年間降水量は約1000ミリメートル弱であり、気温は7月頃に最も低く、1月頃に最も高くなります。
(2023年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 一年を通じて降水量が極端に少なく、わずかな降水が冬にのみ見られる。 | 2. 夏にあたる1月頃は気温が高く、降水量がほとんどゼロになる乾季となる。 | 3. 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。 | 4. 冬にあたる7月頃に降水が集中し、それ以外の季節は非常に乾燥する。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問7 南アメリカ大陸の国々のうち、日本への輸出内訳において「銅鉱」が約60%と最も多く、次いで「魚介類」が約16%を占めるという統計的特徴を持つ国はどこですか。
(2024年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|-------|
| 1. アルゼンチン | 2. コロンビア | 3. ブラジル | 4. チリ |
|-----------|----------|---------|-------|

問8 オセアニア州にあるサンゴ礁を基盤とする島国では、地球温暖化を背景とした「海面浸食」が大きな課題となっています。この問題が発生する地形的な背景とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2024年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. サンゴ礁が波の衝撃を吸収できなくなったことで、リアス海岸特有の複雑な入り江に津波が押し寄せやすくなっている。 | 2. 大陸から切り離された孤立した島々であるため、海面上昇によって独自の生態系を持つマングローブ林が乾燥し、砂漠化している。 | 3. サンゴ礁の島は山地が少なく標高が極めて低いため、わずかな海面の上昇でも居住地や耕作地に海水が入り込みやすい。 | 4. プレートの境界に位置するサンゴ礁の島では、温暖化による海水温の上昇が引き金となって火山活動が活発化している。 |
|---|--|---|---|

問9 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈の地形的特徴と、それが大陸全体の断面形状に与える影響について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2025年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸の東側に険しいアンデス山脈が存在するため、断面図では西から東へ向かうにつれて標高が高くなる。 | 2. 新期造山帯に属する高く険しい山脈が西側に偏っているため、大陸全体の断面は西が高く東が低い構造になる。 | 3. 大陸の西側から中央部にかけて広大な盆地が広がるため、断面図では中央部が最も標高が低く凹んだ形状になる。 | 4. 古期造山帯に属するなだらかな山脈が西側に位置するため、大陸全体の断面は東西で標高の差がほとんどない。 |
|---|---|--|---|

問10 かつてのブラジルのように、特定の一次産品の輸出に頼る経済構造には、国の経済を安定させる上で大きな課題があります。その課題の説明として、最も適切なものはどれですか。
(2026年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 国際価格の下落や不作が起こると、国全体の輸出収入が激減し、経済が大きな打撃を受ける。 | 2. 高度な技術を持つ労働者が過剰になり、工業化を進めるための資金が不足する。 | 3. 特定の作物のみを栽培するため、国内の食料自給率が極めて高くなり、輸出ができなくなる。 | 4. 輸出先が特定の国に限定されてしまうため、周辺国との貿易摩擦が解消できなくなる。 |
|---|---|---|--|

問11 東京中央卸売市場の統計において、1月から5月はニュージーランド産が多く、6月から11月は国産が中心となっているかぼちゃの供給体制について、その特徴を説明したものとして正しいものを選んでください。
(2026年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日本とニュージーランドの収穫時期のズレを利用して、年間を通じて安定した供給を維持している。 | 2. ニュージーランドの収穫期が日本と同じ夏であるため、輸送時間を考慮して輸入時期を調整している。 | 3. 冬から春にかけての日本の需要に応えるため、保存性の高いニュージーランド産を優先的に輸入している。 | 4. 国産かぼちゃの生産量が減少しているため、年間を通じてニュージーランド産への依存度を高めている。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 バイオ燃料の普及に伴い、ブラジル南東部ではアルコール燃料を製造する工場が集中している。	ブラジルではさとうきびの生産が盛んな南東部を中心に、バイオ燃料（アルコール燃料）を製造する工場が集中しています。一方で、原料を確保するために大規模な農地開発が進んだ結果、土壌が流出しやすくなるなどの新たな環境問題も発生しており、SDGsの「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」という目標達成に向けた課題となっています。
問2	答え 3 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。	チリは銅などの豊富な鉱産資源を背景に輸出額を大きく伸ばしました。1993年時点では上位5か国に入るアジアの国は日本だけでしたが、2017年には中国、日本、韓国の3か国が上位に入るようになり、アジア地域がチリにとって極めて重要な市場へと変貌を遂げたことを示しています。特に中国の存在感は圧倒的であり、かつて最大だったアメリカ合衆国の割合を大きく上回っています。
問3	答え 4 広大な国土に豊富な鉱産資源と農産物を有しているが、人口密度は1平方キロメートルあたり4人と極めて低い。	オーストラリアは世界有数の資源・農業国であり、鉄鉱石などの鉱産資源や、なたね・豚肉といった農畜産物が輸出の大きな割合を占めています。国土面積は非常に広いものの、乾燥帯が多く居住に適した地域に限られるため、国全体の人口密度は1平方キロメートルあたり約4人と、日本の約340人と比較しても極めて低くなっています。
問4	答え 1 海面上昇	地球温暖化によって気温が上がると、海水が温まって体積が増える「熱膨張」が起こるほか、陸地の氷河が融解して海へ流れ込みます。これにより海面が高くなり、モルディブやツバルといった海拔の低い島国では、住居や耕作地が浸水する深刻な被害が出ています。
問5	答え 3 日本と経度が約180度離れており、地球のほぼ反対側に位置しているため	時差は経度の差によって決まる。地球は24時間で360度自転するため、1時間につき15度の時差が生じる。日本（東経135度）と12時間の時差がある場所は、15度×12時間＝180度の経度差がある地点であり、これは地球の真裏（西経45度付近）に相当する。南アメリカ大陸のブラジルなどはこの経度帯に位置し、かつ赤道が通過しているため、条件に合致する。
問6	答え 3 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。	シドニーが属する温暖湿潤気候は、季節による降水量の偏りが少なく、一年を通じて平均的に雨が降ることが大きな特徴です。オーストラリア南部で見られる地中海性気候（夏に乾燥する）や、内陸部の乾燥帯（雨が極めて少ない）とは、この「年間を通じて安定した降水がある」という点で明確に区別されます。
問7	答え 4 チリ	チリは世界最大の銅産出国であると同時に、太平洋に面した長い海岸線と寒流（ペルー海流）の影響により漁業も盛んです。日本向けには銅だけでなく、サーモンやウニなどの魚介類も多く輸出されており、この2つの品目で対日輸出額の約4分の3を占めています。
問8	答え 3 サンゴ礁の島は山地が少なく標高が極めて低いため、わずかな海面の上昇でも居住地や耕作地に海水が入り込みやすい。	サンゴ礁でできた島々は、火山島などと比較して地形が非常に低く平坦であるという特徴があります。そのため、地球温暖化による海面上昇は、単に土地が削られるだけでなく、井戸水への塩分混入や農地の塩害を引き起こし、人々の生活基盤を脅かしています。これはオセアニア諸国にとって国家の存続に関わる重大な国際問題となっています。
問9	答え 2 新期造山帯に属する高く険しい山脈が西側に偏っているため、大陸全体の断面は西が高く東が低い構造になる。	アンデス山脈はプレートの境界に近い大陸の西縁に形成された新期造山帯であり、標高6000メートルを超える山々も含まれる非常に険しい山脈です。この山脈が西端に位置していることで、南アメリカ大陸を横断する断面図を描いた場合、西側に高い壁のような起伏が生じ、そこから東の大西洋側へ向かってなだらかに標高が下がっていく様子が確認できます。
問10	答え 1 国際価格の下落や不作が起こると、国全体の輸出収入が激減し、経済が大きな打撃を受ける。	モノカルチャー経済の最大の弱点は、依存している品目の国際市場での価格暴落や、天候不順による不作の影響を直接受けることです。収入源が限られているため、一つの品目の不調が国家財政の破綻につながる恐れがあります。このため、多くの国では工業化や輸出製品の多様化（多角経営）を図り、リスクを分散させる政策がとられています。
問11	答え 1 日本とニュージーランドの収穫時期のズレを利用して、年間を通じて安定した供給を維持している。	農産物の供給における国際分業の仕組みを問う問題です。統計資料に見られる入荷時期の使い分けは、消費者が一年中かぼちゃを購入できるようにするための工夫です。ニュージーランドの収穫可能期間（12月～5月）は日本の生産が少ない時期と合致しており、南半球の季節性を活かした輸入が行われています。これにより、気候条件の異なる国同士が互いの不足を補い合う形が作られています。

南アメリカ・オセアニア
州

名前

- 問1 オーストラリア、ブラジル、中国、インドという上位四カ国で世界の産出量の多くを占める鉱産資源と、その資源が多く分布する地形的な特徴の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 鉄鉱石 — 浸食が長い期間続き、地震や火山活動がほとんど見られない「安定陸塊」 | 2. 銅鉱 — アンデス山脈のように、プレート沈み込みに伴う火山活動が活発な地域 | 3. 石炭 — 数億年前の造山運動によって形成され、現在は低くならかな山脈となっている「古期造山帯」 | 4. 石油 — 比較的新しい時代の地殻変動によって形成された、険しい山脈が連なる「新期造山帯」 |
|--|--|--|---|
- 問2 オーストラリアへの移民の出身地域に関する変化について、1940年代から1970年代前半までの状況と比較して、1970年代後半以降に顕著に見られるようになった特徴として正しいものはどれか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|------------------------------------|---|
| 1. アフリカ諸国からの労働力としての移民が、全移民の半数を超えるようになった。 | 2. イギリスやアイルランドなどのヨーロッパ出身の移民がさらに高い割合を占めるようになった。 | 3. アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。 | 4. 北アメリカや南アメリカからの移民が、ヨーロッパからの移民の数を上回った。 |
|--|--|------------------------------------|---|
- 問3 南アメリカ大陸の形状について述べた説明において、大陸が最も細くなっている最南端の先端部分を水平に横切るように位置している緯線はどれか。北アメリカ大陸のアメリカ合衆国とカナダの国境線の一つである北緯49度に近い数値であることを参考に答えなさい。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 南緯30度 | 2. 南緯40度 | 3. 南緯50度 | 4. 南緯20度 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問4 チリの輸出相手国の構成に関する統計において、1993年時点ではアジア州の国で上位5か国に入っていたのは日本（16.2%）のみでしたが、2017年には中国（27.6%）が首位となり、日本と韓国を合わせた計3か国が上位5か国を占めるようになりました。このようなチリの貿易の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. アジア市場への依存度が高まっており、特に中国が最大の輸出相手国となっている。 | 2. 輸出相手国の大部分をヨーロッパ諸国が占めるようになり、アジアとの取引は縮小している。 | 3. 輸出総額が1993年よりも減少したため、特定の国への依存を避ける傾向にある。 | 4. アメリカ合衆国への輸出割合が急増し、北アメリカ州への依存が一段と強まっている。 |
|---|---|---|--|
- 問5 全陸地面積のうち、乾燥帯の占める割合が約57.2%と半分を超えており、温帯が約25.9%、熱帯が約16.9%という気候構成になっている大陸はどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-----------|------------|------------|
| 1. オーストラリア大陸 | 2. アフリカ大陸 | 3. ユーラシア大陸 | 4. 南アメリカ大陸 |
|--------------|-----------|------------|------------|
- 問6 ブラジルの農産物生産統計において、2006年には約4億7741万トンであったある農作物の生産量が、2010年には約7億1746万トンへと短期間で大幅に増加しました。この農作物は、自動車などの燃料として利用されるバイオ燃料の原料となりますが、この農作物の名称として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|----------|
| 1. バナナ | 2. コーヒー豆 | 3. オレンジ | 4. さとうきび |
|--------|----------|---------|----------|
- 問7 1960年当時のオーストラリアは、輸出額の約4分の1をイギリスが占めていましたが、2010年の統計では中国が約25%で首位となり、2位の日本、3位の韓国を合わせるとアジアの3カ国で輸出全体の半分近くを占めるようになっていきます。この変化に関連するオーストラリアの記述として、正しいものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 1960年以前から一貫して中国が最大の輸出相手国であり、羊毛や鉄鉱石のほとんどを輸出してきた。 | 2. かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが相対的に弱まり、地理的に近いアジア諸国との貿易が拡大した。 | 3. 石炭や鉄鉱石などの鉱産資源が枯渇したため、現在はイギリスなどのヨーロッパ諸国へ工業製品を主に輸出している。 | 4. アジア州からの移民を制限する白豪主義を現在も維持しており、経済面でのみ中国や日本と協力している。 |
|--|--|--|---|
- 問8 オーストラリアは世界有数の鉱産資源の産出国であり、その多くを日本などへ輸出しています。大陸の地質や地形に基づいた資源の分布について、大陸東部の山脈付近で採掘が盛んな資源と、大陸北西部の地域で採掘が盛んな資源の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|---------------------|
| 1. 東部：石炭、北西部：鉄鉱石 | 2. 東部：銅、北西部：石炭 | 3. 東部：鉄鉱石、北西部：石炭 | 4. 東部：石炭、北西部：ボーキサイト |
|------------------|----------------|------------------|---------------------|
- 問9 銅の需給に関するある統計資料において、鉱山から直接採り出された「産出量」が約20,500千トンであるのに対し、製品の原料として供給された「生産量」は約24,400千トンとなっており、生産量が産出量を大きく上回っています。このように、生産量が産出量を上回る主な理由として、現代社会で行われているどのような取り組みが挙げられますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 不足分を補うために、海外から未加工の鉱石を大量に輸入して備蓄しているため | 2. 技術革新によって、同じ量の鉱石から抽出できる金属の割合が大幅に向上したため | 3. 過去に採掘して保管されていた在庫を放出し、市場への供給量を調整しているため | 4. 廃棄された製品などから回収された再生資源が、リサイクルされて再び利用されているため |
|---|--|--|--|
- 問10 南アメリカ大陸の太平洋側に位置するペルーの首都リマは、年間の降水量がわずか2mm程度という極めて乾燥した気候が特徴です。このようなリマの気候的特徴を表す用語として、最も適切なものはどれか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|------------|-----------|
| 1. 熱帯雨林気候 | 2. 海岸砂漠 | 3. 西岸海洋性気候 | 4. 地中海性気候 |
|-----------|---------|------------|-----------|
- 問11 南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに発展したインカ帝国と、その地域で行われてきた生活様式について述べた文として、自然環境との関わりを踏まえた記述として正しいものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 季節風の影響を受ける温暖な平野部において、大規模な灌漑設備を整えることで稲作を中心とした中央集権国家を樹立した。 | 2. 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。 | 3. 熱帯雨林の広がる低地において、焼畑農業によってキャッサバなどを栽培し、移動を繰り返しながら生活する文化を築いた。 | 4. メキシコ高原の乾燥した気候を活かして、とうもろこしの栽培を基礎とした都市国家を形成し、独自の暦や文字を発達させた。 |
|---|---|---|--|
- 問12 日本がオーストラリアから輸入している品目のうち、2022年の統計において輸入総額の約45%と最も大きな割合を占め、主に日本の火力発電の燃料として利用されている鉱産資源を選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 銅鉱 | 2. 石炭 | 3. 鉄鉱石 | 4. 液化天然ガス |
|-------|-------|--------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鉄鉱石 ― 浸食が長い期間続き、地震や火山活動がほとんど見られない「安定陸塊」	鉄鉱石は地球上で最も古い地殻である「安定陸塊」に豊富に埋蔵されています。オーストラリアの西部やブラジルの鉄山などはその代表例です。石炭は古期造山帯、石油や銅鉱は主に新期造山帯に関連して分布するという特徴があるため、鉄鉱石と安定陸塊の結びつきを理解することが重要です。この資源は現代の鉄鋼業に欠かせない重要な原料となっています。
問2	答え 3 アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。	オーストラリアでは、第二次世界大戦後から1970年代前半にかけてはイギリスやアイルランドなどヨーロッパ出身の移民が圧倒的多数を占めていました。しかし、1970年代後半以降はそれまでの白人優先の政策（白豪主義）から、多様な文化を認める「多文化主義」へと方針を転換したため、地理的に近いアジアや東南アジア、近隣のオセアニアからの移民が急増しました。
問3	答え 3 南緯50度	南アメリカ大陸は南に向かうにつれて大陸の幅が狭まり、その最南端付近には南緯50度の緯線が通っています。この緯度は、北半球でアメリカとカナダの国境線となっている北緯49度とほぼ同じ緯度にあたり、南アメリカ大陸が南極に近い非常に高い緯度まで伸びていることを示しています。
問4	答え 1 アジア市場への依存度が高まっており、特に中国が最大の輸出相手国となっている。	1990年代から2010年代にかけて、チリの貿易構造は大きく変化しました。1993年にはアメリカ合衆国が最大の輸出相手国であり、アジア州では日本のみが上位に食い込んでいましたが、中国の経済成長に伴い、2017年には中国が輸出額の約4分の1を占める最大のパートナーとなりました。日本や韓国を含めたアジア圏全体への輸出依存度が強まっていることが、統計データの変化から読み取れます。
問5	答え 1 オーストラリア大陸	オーストラリア大陸は、大陸の中央部から西部の広大な範囲に砂漠やステップが広がっており、六大陸の中で最も乾燥帯の面積割合が高いという特徴があります。アフリカ大陸や南アメリカ大陸は熱帯の割合が非常に高く、この構成比とは異なります。
問6	答え 4 さとうきび	ブラジルでは、世界的な環境意識の高まりや石油価格の変動を背景に、石油代替エネルギーとしてのバイオエタノールの需要が急速に高まりました。その主原料であるさとうきびは、2000年代後半に生産量が飛躍的に増加し、ブラジルの農業およびエネルギー政策における最重要作物の一つとなっています。
問7	答え 2 かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが相対的に弱まり、地理的に近いアジア諸国との貿易が拡大した。	オーストラリアの貿易構造は、歴史的な結びつきがあったイギリス中心のものから、地理的な利便性と市場の大きさを背景としたアジア中心のものへと大きく転換しました。1960年当時はイギリスが26.4%で1位、日本が14.4%で2位でしたが、2010年には中国、日本、韓国が上位を占めるようになり、アジア州との経済的な相互依存関係が極めて強くなっています。
問8	答え 1 東部：石炭、北西部：鉄鉱石	オーストラリアでは、古期造山帯に属する東部のグレートディバイディング山脈周辺で石炭が、安定陸塊が広がる北西部のビルババ地区などで鉄鉱石が豊富に採掘されます。これらの資源は、大規模な露天掘りによって効率的に採掘されているのが特徴です。
問9	答え 4 廃棄された製品などから回収された再生資源が、リサイクルされて再び利用されているため	金属資源の「産出量」は鉱山から新しく採掘された量を指しますが、「生産量」はリサイクルによって回収された資源も含まれます。銅などの資源において生産量が産出量を上回っているのは、使用済みの電化製品などから資源を回収し、再び原料として活用する仕組みが整っていることを示しています。
問10	答え 2 海岸砂漠	ペルーの首都リマは、南アメリカ大陸の西側に位置しています。この地域は沖合を流れる寒流（ペルー海流）の影響で空気が安定し、雲が発達しにくいいため、海岸沿いでありながら年間を通して降水量が極めて少ない砂漠地帯となっています。
問11	答え 2 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。	アンデス山脈のような標高の高い地域では、気温が低く酸素も薄いため、平地とは異なる生活の工夫が必要でした。インカ帝国の人々は、斜面に段々畑を作って冷涼な気候に強いじゃがいもを栽培し、車輪や鉄器を使わずに巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術を持っていました。これに対して、メキシコ高原で発展したのはアステカ文明であり、地域背景が異なります。
問12	答え 2 石炭	オーストラリアは日本にとって最大の資源供給国の一つです。2022年の輸入統計では、石炭が全体の45.3%を占めて第1位となっており、次いで液化天然ガスが31.3%、鉄鉱石が8.2%と続きます。石炭は鉄鋼業の原料としても使われますが、日本のエネルギー供給においては火力発電の主要な燃料として不可欠な資源です。

- 問1 南アメリカ大陸の北部を横切る赤道と、オーストラリア付近を通る特定の経線が交わる地点は、ブラジル北西部の内陸付近に位置しています。この赤道直下の地域で見られる地理的な特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 標高が高いため一年中涼しく、インカ帝国の遺跡が残る高山都市が発展している。
 2. 寒流の影響を強く受けるため、赤道付近であっても年間を通して降水量が極めて少ない。
 3. 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。
 4. アンデス山脈のふもとに位置し、パンパと呼ばれる広大な温帯草原が広がっている。
- 問2 2019年の統計において、オーストラリアを訪れる観光客の地域別構成ではアジア圏が全体の過半数を占めています。また、貿易額においてもアジア諸国との取引が中心となっています。こうした状況に至った歴史的背景として、オーストラリアが廃止した「白人以外の移住を制限した政策」と、その後に目指した社会のあり方の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 「白豪主義」を廃止し、多様な民族の文化を互いに尊重し合う「多文化社会」への転換。
 2. 「アパルトヘイト」を廃止し、先住民のアボリジニのみを優先する「単一民族社会」への転換。
 3. 「鎖国政策」を廃止し、近隣の島々とのみ交流を行う「地域限定社会」への転換。
 4. 「排外主義」を廃止し、公用語を英語からアジア諸国の言語へ変更する「言語融合社会」への転換。
- 問3 南アメリカ大陸の国々の多くは、かつてスペインの植民地であった歴史からスペイン語を公用語としていますが、ブラジルは異なる歴史的背景を持っています。ブラジルの歴史と、現在の産業や自然環境について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. かつてオランダの植民地であったためオランダ語を公用語としており、コーヒーの生産量は世界で最も少ない。
 2. かつてポルトガルの植民地であったためポルトガル語を公用語としており、アマゾン川流域に広大な熱帯雨林を有している。
 3. かつてフランスの植民地であったためフランス語を公用語としており、パンパと呼ばれる広大な草原で小麦を栽培している。
 4. かつてイギリスの植民地であったため英語を公用語としており、アンデス山脈の標高の高い地域でアルパカを飼育している。
- 問4 オーストラリアは日本の約20倍もの広大な国土面積を持っていますが、人口密度が非常に低く、さらに森林割合も約16%と低い数値にとどまっています。このように森林割合が低くなっている主な要因として、適切な説明はどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 国土の大部分が乾燥帯が広がり、降水量が少なく砂漠や草原が多いため。
 2. 急激な人口増加に伴い、居住地を確保するために森林を宅地に変えたため。
 3. 熱帯雨林の伐採が急速に進み、広大な鉱山開発が行われたため。
 4. 国土の大部分が寒冷な気候に属しており、樹木が育ちににくい。
- 問5 世界の主要な山脈の分布について説明した次の文のうち、アンデス山脈の地理的特徴を正しく述べているものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. オーストラリア大陸の東側に位置し、古期造山帯に属する比較的標高の低い山脈である。
 2. 北アメリカ大陸の東部に位置し、石炭の埋蔵量が多いならかな山脈である。
 3. ヨーロッパ大陸の南部に位置し、アフリカ大陸との衝突によって形成された。
 4. 南アメリカ大陸の西海岸沿いに南北に走り、環太平洋造山帯の一部を構成している。
- 問6 南アメリカに位置するペルーとボリビアの貿易構造について、2012年の統計データを踏まえた説明として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. ペルーの輸出第1位の品目は原油であり、ボリビアは銀鉱が輸出の約5割を占めている。
 2. ペルーの輸出第1位の品目は金であり、ボリビアの輸出第1位の品目は天然ガスである。
 3. ペルーとボリビアは、ともに工業製品の輸出額が鉱産資源の輸出額を大きく上回っている。
 4. ペルーとボリビアは、ともに輸出総額の半分以上をコーヒーや大豆などの農産物が占めている。
- 問7 オーストラリアのシドニーにおける気温の変化を記した資料では、7月頃に気温が最も低くなり、1月頃に最も高くなるという、日本とは逆の曲線を描いています。このような気温の変化が生じる理由と、シドニーが属する気候区分の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 地中海沿岸と同じく夏に雨が降らなくなるため。：地中海性気候
 2. 赤道付近に位置しており一年中気温が高いため。：熱帯雨林気候
 3. 南半球に位置しており日本と季節が逆転するため。：温暖湿润気候
 4. 内陸部の広大な砂漠の影響を強く受けるため。：乾燥帯
- 問8 世界の資源産出と主要な産地に関する記述として、統計上の事実に基づいた正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石は、中国、オーストラリア、ブラジルなどが主な産出国であり、ブラジル北部のカラジャスでは大規模な開発が行われている。
 2. 天然ガスは、中国とブラジルが世界の産出量の大部分を占めており、カラジャス鉱山は世界最大の埋蔵量を誇る。
 3. 銅は、ロシアやインドが世界産出量の過半数を占めており、ブラジル北部のカラジャスは主要な精錬拠点となっている。
 4. 原油は、ブラジル北部のカラジャスが世界最大の産地となっており、オーストラリアやインドへの輸出が盛んである。
- 問9 世界の主要な農産物の分布をみると、小麦は中国、インド、アメリカなどの温帯に広く分布していますが、コーヒーはブラジル、ベトナム、コロンビアなどの低緯度帯に集中しています。南アメリカのアンデス山脈における、高度に応じた作物の変化について述べた記述として正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 年間を通して降水量が極めて少ない平坦な乾燥地において、灌漑施設を用いて栽培される
 2. 低緯度帯の低地にある、年間を通して高温多湿な熱帯雨林の泥地で栽培される
 3. 小麦やじゃがいもが栽培される冷涼な高地よりも、標高が低く温暖な斜面で栽培される
 4. 標高が最も高い寒冷な地点において、リヤマやアルパカの放牧とともに栽培される
- 問10 ブラジルの都市であるリオデジャネイロで2016年に開催された夏季オリンピック・パラリンピック大会に関する記述として、地理的な背景を踏まえて最も適切なものはどれか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. この大会は、アフリカ大陸で初めて開催された夏季大会である。
 2. この大会は、2021年に開催された東京大会よりも後に実施された南半球の大会である。
 3. この大会は、南アメリカ大陸で初めて開催された夏季大会である。
 4. この大会が開催されたブラジルは、北アメリカ大陸に位置する最大の国家である。
- 問11 ニューージーランドのウェリントンは南半球に位置し、西岸海洋性気候に属しています。この都市の雨温図に見られる気温と降水量の特徴として、正しい記述はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 7月頃に気温が高くなり、夏にあたる時期に乾燥する
 2. 1月頃に気温が高くなり、年間を通して安定した降水が見られる
 3. 1月頃に気温が低くなり、冬にあたる時期に降水量が多くなる
 4. 年間を通して気温の変化が小さく、降水量は一年中非常に少ない
- 問12 南アメリカ大陸の北部、赤道が通るブラジルを中心とした広大な地域を流れ、世界最大の流域面積を持つ河川の名称として適切なものを選びなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. アマゾン川
 2. ミシシッピ川
 3. ナイル川
 4. コンゴ川

答え合わせ・解説

問1	答え 3 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。	南アメリカ大陸の北部には赤道が通っており、特にブラジル北西部の低地はアマゾン川の流域にあたります。この地域は赤道直下のため一年中気温が高く、上昇気流によって多量の雨が降る熱帯雨林気候となっており、「セルバ」と呼ばれる広大な熱帯雨林が広がっています。パンバはアルゼンチンなどの大陸南部に位置する温帯草原であり、インカ帝国の遺跡などは主にアンデス山脈の高地に見られる特徴です。
問2	答え 1 「白豪主義」を廃止し、多様な民族の文化を互いに尊重し合う「多文化社会」への転換。	オーストラリアは1970年代までに、非白人の移住を制限する「白豪主義」を完全に廃止しました。その後、多様な文化背景を持つ人々が共生する「多文化主義（多文化社会）」を国の方針として掲げたことで、アジア地域からの移民や観光客が増加し、経済・文化の両面でアジアとの結びつきが不可欠なものとなりました。
問3	答え 2 かつてポルトガルの植民地であったためポルトガル語を公用語としており、アマゾン川流域に広大な熱帯林を有している。	南アメリカ大陸において、ブラジルは1494年のトルデシリャス条約などに基づきポルトガルの植民地となったため、周囲のスペイン語圏の国々と異なりポルトガル語が公用語となりました。地理的には、世界最大の流域面積を誇るアマゾン川が流れ、世界最大の熱帯林（セルバ）が広がっていることが大きな特徴です。近年では自動車産業などの工業化も目覚ましく進展しています。
問4	答え 1 国土の大部分に乾燥帯が広がり、降水量が少なく砂漠や草原が多いため。	オーストラリアの自然環境の特色を問う問題です。中緯度高压帯の影響などにより、内陸部を中心に広大な砂漠や乾燥した草原（ステップ）が広がっています。このため、樹木が密集して育つ「森林」の割合は国土の2割を下回っており、これが人口分布が沿岸部に集中する要因の一つにもなっています。寒冷な気候はカナダなどの特徴であり、オーストラリアは人口密度が低いため宅地造成による森林減少は主要因ではありません。
問5	答え 4 南アメリカ大陸の西海岸沿いに南北に走り、環太平洋造山帯の一部を構成している。	アンデス山脈は南アメリカ大陸の西側に位置する、世界最大級の山脈です。環太平洋造山帯に含まれるため、地震活動が活発で火山も多く、標高6,000メートルを超える高山がいくつも存在します。北アメリカ東部はアパラチア山脈、ヨーロッパ南部はアルプス山脈、オーストラリア東部はグレートディバイディング山脈であり、それぞれ位置や形成された時期が異なります。
問6	答え 2 ペルーの輸出第1位の品目は金であり、ボリビアの輸出第1位の品目は天然ガスである。	南アメリカのアンデス山脈周辺の国々は、豊かな鉱産資源の輸出に頼る傾向があります。2012年の統計において、ペルーでは金が輸出全体の約21%を占めて第1位となっており、次いで銅鉱などの輸出が盛んです。一方、ボリビアでは天然ガスが輸出全体の約46%を占めており、経済の大きな柱となっています。農産物や工業製品ではなく、鉱産資源やエネルギー資源が輸出の中心となっているのがこの地域の特徴です。
問7	答え 3 南半球に位置しており日本と季節が逆転するため。：温暖湿潤気候	地球の公転と地軸の傾きの影響により、南半球は北半球と季節が逆になります。そのため、日本が夏（7月）の時期にオーストラリアは冬を迎え、気温が最も低くなります。また、シドニー周辺は日本の大部分と同じく、年間を通じて一定の降水量があり、夏と冬の気温差がはっきりしている温暖湿潤気候に属しています。
問8	答え 1 鉄鉱石は、中国、オーストラリア、ブラジルなどが主な産出国であり、ブラジル北部のカラジャスでは大規模な開発が行われている。	鉄鉱石の産出上位国は、広大な国土を持つ中国、オーストラリア、ブラジル、インド、ロシアなどの諸国で占められています。ブラジルでは、北部のカラジャス鉄山などの開発が進んだことで、世界的な供給拠点となりました。他の選択肢にある原油や銅、天然ガスなどは、カラジャスにおける主要な採掘資源ではありません。
問9	答え 3 小麦やじゃがいもが栽培される冷涼な高地よりも、標高が低く温暖な斜面で栽培される	アンデス山脈のような高地では、標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高度によって栽培される作物が異なります。小麦やじゃがいも、とうもろこしは、より標高が高く冷涼な地域で栽培されますが、コーヒーやさとうきび、バナナなどは、それらよりも標高が低く温暖な斜面を利用して栽培されるのが特徴です。
問10	答え 3 この大会は、南アメリカ大陸で初めて開催された夏季大会である。	2016年のリオデジャネイロ大会は、南アメリカ大陸におけるオリンピック・パラリンピック開催の先駆けとなりました。ブラジルは南アメリカ大陸で最大の面積を持つ国であり、夏季大会がこの大陸で開かれたのは歴史上初めてのことです。なお、東京大会は2021年に開催されたため、リオデジャネイロ大会の方が先に実施されています。
問11	答え 2 1月頃に気温が高くなり、年間を通して安定した降水が見られる	ニュージーランドは南半球に位置するため、北半球の日本とは季節が逆転し、1月頃が夏（気温が高い）、7月頃が冬（気温が低い）となります。また、西岸海洋性気候の特徴として、偏西風の影響により年間を通して降水量が安定しており、地中海性気候のように極端に乾燥する季節はありません。
問12	答え 1 アマゾン川	南アメリカ大陸の赤道付近に位置するこの河川は、アンデス山脈に源を発し、世界最大の流域面積を誇ります。広大な熱帯雨林（セルバ）を形成しており、地球環境においても重要な役割を果たしています。一方、ナイル川は世界最長の河川、コンゴ川はアフリカ大陸で2番目に長い河川、ミシシッピ川は北アメリカ大陸を流れる河川です。